



成長を感じた「音楽集会」1年生

今日22日(木)は、音楽集会がありました。今回の集会では、1年生が合唱で「はる なつ あき ふゆ」と「しろくまのジェンカ」を歌と踊りで披露してくれました。また合奏で「とんくるりん ぱんくるりん」も打楽器と鍵盤ハーモニカで演奏しました。

まず、「はる なつ あき ふゆ」では、春は軽快な感じを、動きをつけながらイメージして歌っているのが伝わってきました。夏は「大きなくじら」が「『ザブン』ともぐる様子」を身振りを入れ、「ゆったりと」歌う工夫には驚きました。秋は「こりす」が「いそいでおでかけ」している様子を、「小さく弾んで歩くような」歌い方の工夫をしていました。冬の場合では、「小さな星が夜空で光る」様子が伝わるように、声は優しく歌っていました。また、「しろくまのジェンカ」

では、楽曲のもつリズムに合った表現で歌ったり、踊ったりしました。「ジェンカ」とは、1960年代に欧米を中心に世界的に流行したフィンランド発のダンス音楽のことを言います。子供たちもリズムよく踊って、その楽しさを体全体で表現していました。

合奏曲「とんくるりん ぱんくるりん」では、打楽器と鍵盤ハーモニカの音を合わせて表現しました。低学年では比較的体験することの少ない3拍子の曲ですが、拍の流れにのって、トライアングルやカスタネット、タンバリン、鈴など打楽器もしっかりと3拍子の曲を楽しく演奏してくれました。

音楽専科の力田先生は、「『はる なつ あき ふゆ』では、歌詞や曲の感じに合わせてイメージした様子を踊りにして生き生きと表現できていました。また『しろくまのジェンカ』では、友達と協力しながら、楽しく歌い踊っていました。合奏は3拍子のリズムに乗って、互いの音を聴き合いながら演奏していました。演奏前後も立派な態度で感心しました。」と述べています。

感想交流では、3年生が「『🎧 帯西ブルー』の心が伸びました。わけは1年生の音楽に感動したからです。」、5年生が「『🎧 帯西グリーン』の心が伸びました。わけは、1年生がみんな協力してやっていますすごいと思ったし、リズムうちで友達と協力してやっていたからです。」と感想を述べていました。その感想のお返しに1年生が「『🎧 帯西グリーン』の心が伸びました。わけはみんなと協力して、今日の音楽集会をのりこえることができたからです。」と感想交流を締めくくってくれました。

音楽委員も、リズムうちなどで、今年度最後の集会を運営してくれました。手でリズムをたたいたり、ひざや足踏みでたたいたり、皆で拍打ちして盛り上がりました。

一年間、音楽集会を通して、他学年の様々な音楽活動に出合い、共通の体験を重ねていきながら、どの心が伸びたかを共有し、音楽の楽しさ・美しさに感動し、「また、みんなと一緒に音楽したい」という意欲が生まれる場となりました。音楽集会に向けて頑張った子供たち、先生方、そして音楽委員会の皆さんに感謝します。

